

(令和3年11月試験研究業務月報)

タスクチーム活動：飼料用イネ（WCS）とそばの二毛作生産実証

普及

「夢あおば」のホールクロップサイレージを調査

水田の有効活用と特産物のそばの生産拡大を目的に今年度から飼料用イネとそばの二毛作の実証を南丹広域振興局、南丹農業改良普及センター、京丹波町、地域の耕種農家、酪農家とともに取り組んでいます。

8月下旬から秋そば栽培ができるように、4月下旬に田植えした飼料用イネ品種「夢あおば」を8月11日の糊熟期に刈り取り、ホールクロップサイレージ[※]調製しました。80日後に開封してサイレージ品質と飼料成分を調査したところ、サイレージ品質は評点が90点のA評価で、栄養価を示すTDNも58.5%と標準とされる53.2%よりも高く良質なサイレージが調製できました。

今後は酪農家での給与実証により二毛作を総合的に評価する予定です。

※ 穀実と茎葉を一緒に発酵させた飼料



上：専用収穫機で調製したイネホールクロップサイレージ 下：開封・調査したサイレージ

畜産センター